

不審者想定避難訓練（６月２０日）

2001年６月８日に起こった大阪教育大附属池田小学校における児童殺傷事件から23年が経ちました。本校では近年、自然災害や火災を想定した避難訓練を実施してきましたが、昨年近隣小学校に不審者が侵入するという事件が発生したことを受け、本年度は数年ぶりに不審者を想定した避難訓練を行うことにしました。

６月20日（木）の６時間目。まず各教室にて担任より池田小学校の事件や緊急時の対応についての説明があり、10分後に不審者に扮した教員が模擬ナイフを持ち、叫びながら校内を徘徊しました。生徒たちは教室の内側から鍵をかけ、廊下側の窓を閉め、机や椅子でバリケードを築いて不審者の侵入を阻止しました。教員により不審者が拘束されると、全員グラウンドに避難しました。生徒たちは教室ではやや緊張感が欠けている一面も見受けられたのですが、不審者に扮した教員やさすまたで応戦した教員の真剣な振る舞いにより気が引き締まり、グラウンドでの講評や説明は全員がしっかり顔を上げて聞けていました。

二度とあのような悲劇が繰り返されることのないよう、これからも定期的に訓練を実施し、意識付けをしていきたいと思います。

